



山城 良一
議員



施政方針について

質 介護予防事業の取組について

福祉課長（石川 司）

がんじゅう大学、アクティブシニア教室、脳リズ教室を継続的に現在実施しています。

質 ほかに事業計画はないのか

福祉課長（石川 司）

今回認知症カフェということで、認知症の人やその家族が地域において専門家と相互に情報共有する場を設けていく。

質 交通安全対策の推進について

総務課長（山城 雅人）

令和3年7月7日付で石川署長宛てに二輪車の夜間交通規制についてとい

うことで要望を提出した。早めに年度入りしましたらまた取り組んでいきたい

質 体験農場整備費の目的と場所について

農林水産課長（宮平 覚）

村内の子供たち、新規就農者向けの体験農場、修繕等の消耗品、恩納の伊場地区を予定している。

質 観光農園市場調査の調査目的、場所はどこと想定しているのか

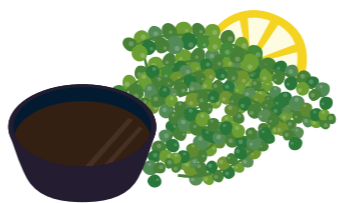
農林水産課長（宮平 覚）

観光農園の可能性についてのアンケート調査、事業所等の聞き取り。野原地区、万座毛周辺で考えています。

質 水産業の振興について。海ブドウの養殖池の利用料の一部4分の1の補助を実施しているが、補助率を引き上げることはできないか

村長（長浜 善巳）

コロナの感染状況など推移を見ながら、検討していく。



真栄田岬周辺活性化施設指定管理について

質 令和4年1月19日、観光協会より議会へ状況確認についての質問事項が提出された。継続審議となっており大変迷惑しているということで、議事に、本件に関わる臨時会の開催について、現在の進捗状況についての質問事項が提出されました。令和4年1月25日、村長へ指定管理者の内定について辞退届が提出された。内容は、村議会においていまだに継続審議となっており、今後の指定管理の準備等についても人的配置並びに時間的な観点から、今回の指定管理者内定については辞退をさせていただく旨の申入れがされた。村におかれましては、令和3年7月10日の一般公募の事務調整から8月24日には要項の一部の改正もし、審査会も3回行われ、11月17日村長への答申がなされ、11月24日には観光協会へ内定の通知がなされた。令和4年2月2日臨時会において、村長より、議案第74号 真栄田岬周辺活性化施設の指定管理について撤回することになりました。撤回については、同時にその日、動議の発言があり、理由は、指定管理特別調査委員会の設置について起立多数で可決されました。この一連の流れ、一般公募決定、辞退届を提出した観光協会に対して、村としてどう対応し、対処していくのか

質 地元商店も減少している中で行政は対策を取っているのか。

企画課長（喜久山 隆）

他市町村で活用されている移動販売車の実例を課題解決に向けて調査していきたい。

質 村内から購入できるものは村内の店を利用するようにと監査指摘を行っています。実施されていない。どう思われますか。

総務課長（山城 雅人）

庁舎内、職員も含めて積極的に活用するように呼びかけていきたい。

質 平成30年度の買い物動向調査、県商工労働部が公表している市町村別地元購買ランキングで食料品、沖縄県に41市町村ありますが最下位は恩納村。医療、身の回り品、文化品、ほぼ全て最下位。これが村の実態です。御感想を聞かせください。

企画課長（喜久山 隆）

買い物動向調査を見ることは初めてです。正直、買い物物の不便さが数字として表れている。

答 商工観光課長（山田 俊幸）

実態をしっかりと確認した上で、今後関係課含めてどのようにしたらいいか審議していきたい。

答 村長（長浜 善巳）

今のところペナルティは考えていません。

質 今定例会、(株)真栄田が指定され協定書が提出されています。特記事項が記載されたのは初めて。村長が先頭に立って融和策提言してはどうか

村長（長浜 善巳）

地域でのトラブルなどがありました。真栄田区をはじめ(株)まえたの皆さんと意見交換しながら私も入り、より良い方向に進めていきます。



質 我々人間というのは常に、平時のことを考えて行動をしています。今、うるま市に買い物に行く、これ平時のこと。ところが災害時になるとこの状況は一変します。村には津波の最大遡上高さ7、8mが来ると数年前から言われています。その津波が押し寄せると仲泊から名嘉真まで壊滅的被害です。残っている商店、おんな共同売店1店です。感想を伺う。

答 総務課長（山城 雅人）

仲泊のほうにも備蓄倉庫を考えています。防災計画に従って、しっかりと対策を進めていきたい。

質 今回は地域のお店や住む場所の提供、住みよい暮らしやすい村について質問いたしました。そのことを達成すると防災、災害に強い村、弱者にやさしい村に直結する思いからの質問でしたが、感想をお聞かせください。

答 村長（長浜 善巳）

大型商業施設がない。若者の定住化のための住む団地が少ない。課題解決に向けて第6次総合計画の中に反映できると考えます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の中から、住む場所の提供について

質 空き家を活用すれば若者定住が大きく改善する。活用について伺う。

企画課長（喜久山 隆）

空き家活用の課題、他市町村の状況を把握に努めて、今後調整していききたい。【恩納村117戸が空き家】

質 若年層は村外へ流出傾向、なぜだと考えますか。

企画課長（喜久山 隆）

公営住宅の戸数は近隣市町村と比較すると低い状況。商業施設などの利便性の悪さがあるため、村外へ流出していると思う。

住みよい・暮らしやすい村について

質 食料品や生活必需品の買い物に困難な状況。買い物弱者が増えています。現状の認識を伺う。

企画課長（喜久山 隆）

買い物物の不便さ、住みやすい暮らしやすい村にするためには商業施設は必要だと認識しています。

